

研究課題番号	SⅡ-3-1
研究課題名	新規 POPs の物理化学特性把握に関わる基礎および応用研究
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	倉持 秀敏

1. 委員の指摘及び提言概要

環境政策の実施に必要な、基礎的な物性について多くの貴重な知見が得られた。目標を高いレベルで達成できたと評価できる。系統的に研究が進められ所期の目標が達成されるとともに、追加的成果も得られている。SCCPs と PFRs の新規分析方法はじめ、物性を明らかにし、先導的成果が得られている。資源化施設における廃棄物排出量等の推計は成果を上げている。新規 POPs に関する物性に関する情報は体形だって整理された成果を生み出しており、計算ツールの WEB 公開もなされていることは高く評価できる。分析手法が確立されつつあることは大きな進歩であり、高く評価したい。形態分析に関する計算予測も精度高くできつつあり、POPs の発生から生物圏への移動までを予測する上で強いツールとなる。PFRs の物理化学特性を解明することにより、POPs の様に対策を優先すべき物質を特定できたことが意義が大きいと考える。

2. 採点結果

評価ランク：S